

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 日本ビジネスシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5036 URL https://www.jbs.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧田 幸弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 CFO (氏名) 勝田 耕平 TEL 03 (6778) 7336
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	25,883	11.8	1,176	4.3	1,152	4.1	680	△0.7
2023年9月期第1四半期	23,154	—	1,127	—	1,106	—	684	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 684百万円 (1.9%) 2023年9月期第1四半期 671百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	14.92	14.23
2023年9月期第1四半期	15.26	14.34

(注) 1. 2023年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	53,243	22,451	42.2
2023年9月期	49,608	22,221	44.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 22,450百万円 2023年9月期 22,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	20.00	—	10.00	—
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2023年9月期の1株当たり期末配当金は20.00円となり、1株当たり年間配当金は40.00円となります。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,800	12.4	5,100	21.6	5,100	17.3	3,450	3.0	75.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	48,366,400株	2023年9月期	48,366,400株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	2,792,945株	2023年9月期	2,794,679株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	45,573,062株	2023年9月期1Q	44,866,400株

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）における国内経済は、社会経済活動の正常化が進み、一部に足踏みもみられるものの景気の緩やかな回復傾向が続きました。一方、不安定な世界情勢に加え、欧米各国との金利差を背景に円安が進行したことで、輸入品を中心に物価の上昇が継続しており、景気の先行きは楽観ができない状況です。

国内IT市場においては、各企業のデジタル変革（DX）に対する投資意欲は引き続き旺盛で、生産性向上や業務効率化のみならず、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革を伴う「働き方改革」等のニューノーマルへの対応ニーズが拡大し、クラウドへの投資需要が高まっております。さらに、各クラウドベンダー及びメーカーの生成AIに対する開発競争が加速しており、今後、様々な分野でクラウド技術やクラウドサービスの活用が進んでいくことが期待されています。

このような環境のもと、当社グループは市場拡大が続くパブリッククラウド市場において、マイクロソフト製品を中心に、価値のデザインから構築、利活用促進までを一気通貫で担えるソリューション提供力を強みに、大手エンタープライズとの直接取引によって事業拡大を実現してまいりました。特に、顧客ニーズの高いセキュリティ及び生成AIにおける支援に注力しており、それぞれ新たなサービスの提供を開始しております。

セキュリティにおいては、2023年10月に業界初となるMicrosoft Azureまで統合監視を可能にしたセキュリティ監視サービス「JBS SOC」をS&J株式会社と共同開発し、リリースしました。クラウドネイティブ時代のゼロトラストに対応した支援を強化してまいります。

生成AIにおいては、2023年11月のマイクロソフト社によるMicrosoft Copilot for Microsoft365の市場投入に合わせ、先行して実施されたCopilotの検証における知見を活かし、企業における生成AIの徹底的な活用と定着化を支援するサービス「Copilot Navi」をリリースしたほか、企業が導入前にインタラクティブにCopilotを体験できる「アドバイザーワークショップ for Microsoft Copilot」をリリースしました。引き続き、顧客の生成AIの活用の支援を強化してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は25,883百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は1,176百万円（同4.3%増）、経常利益は1,152百万円（同4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は680百万円（同0.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績（売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は次の通りであります。

（クラウドインテグレーション事業）

当第1四半期連結累計期間は、旺盛なクラウド需要を背景に案件が増加し、売上が拡大した一方、一部案件の納期変更及び長期化等によりコストが増加し、売上高は5,653百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は703百万円（同2.7%減）となりました。

（クラウドサービス事業）

当第1四半期連結累計期間は、主要顧客に対する営業強化及び新規顧客の獲得により売上が拡大しました。加えて、案件単価の上昇により売上総利益率が改善した結果、売上高は4,395百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は665百万円（同32.3%増）となりました。

（ライセンス&プロダクツ事業）

当第1四半期連結累計期間は、顧客企業のクラウド活用が進んだことでライセンスの販売単価が上昇した結果、売上高は15,832百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は582百万円（同9.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は27,768百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,933百万円増加いたしました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が860百万円、現金及び預金が842百万円増加したことによるものであります。固定資産は25,474百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,700百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産が1,800百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は53,243百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,634百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は20,984百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,798百万円増加いたしました。これは、主に買掛金が3,570百万円、短期借入金が500百万円増加したことによるものであります。固定負債は9,807百万円となり、前連結会計年度末と比べて394百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が384百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は30,792百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,404百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は22,451百万円となり、前連結会計年度末と比べて229百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が224百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.2%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月14日に「2023年9月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,345	6,188
受取手形、売掛金及び契約資産	15,904	16,764
棚卸資産	1,044	1,688
その他	3,558	3,143
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	25,834	27,768
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,486	8,168
土地	7,552	8,652
その他（純額）	1,138	1,157
有形固定資産合計	16,177	17,978
無形固定資産		
のれん	1,835	1,777
その他	443	408
無形固定資産合計	2,278	2,186
投資その他の資産		
その他	5,337	5,325
貸倒引当金	△19	△15
投資その他の資産合計	5,318	5,309
固定資産合計	23,774	25,474
資産合計	49,608	53,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,228	8,799
短期借入金	1,500	2,000
1年内返済予定の長期借入金	1,538	1,538
未払法人税等	333	482
賞与引当金	1,790	873
受注損失引当金	40	121
その他	6,752	7,169
流動負債合計	17,185	20,984
固定負債		
長期借入金	9,285	8,900
役員退職慰労引当金	376	349
修繕引当金	165	182
その他	374	375
固定負債合計	10,201	9,807
負債合計	27,387	30,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	539	539
資本剰余金	8,648	8,649
利益剰余金	13,089	13,313
自己株式	△298	△298
株主資本合計	21,979	22,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241	246
その他の包括利益累計額合計	241	246
新株予約権	0	0
純資産合計	22,221	22,451
負債純資産合計	49,608	53,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
売上高	23,154	25,883
売上原価	20,220	22,417
売上総利益	2,934	3,466
販売費及び一般管理費	1,806	2,289
営業利益	1,127	1,176
営業外収益		
持分法による投資利益	10	35
保険解約返戻金	—	40
その他	27	31
営業外収益合計	37	107
営業外費用		
為替差損	40	109
その他	17	22
営業外費用合計	58	131
経常利益	1,106	1,152
特別利益		
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,105	1,152
法人税等	420	472
四半期純利益	684	680
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	684	680

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
四半期純利益	684	680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	4
その他の包括利益合計	△13	4
四半期包括利益	671	684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	684
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,888	3,678	14,584	23,151	3	—	23,154
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,888	3,678	14,584	23,151	3	—	23,154
セグメント利益	723	503	531	1,757	2	△632	1,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に実施した株式会社ネクストスケープとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、前連結会計年度末に確定
しております。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額の修正は生じておりません。

なお当社は、資産については、事業セグメントに配分しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,653	4,395	15,832	25,880	3	—	25,883
セグメント間の内部売 上高又は振替高	10	—	11	21	—	△21	—
計	5,663	4,395	15,843	25,902	3	△21	25,883
セグメント利益	703	665	582	1,952	1	△777	1,176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額△777百万円には、のれんの償却額△57百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△720百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
ます。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。